インフルエンザ迅速診断キットの性能について

坂井(田川)優子 SAKAI(TAGAWA) Yuko/東京大学医科学研究所感染・免疫部門ウイルス感染分野
河岡義裕 KAWAOKA Yoshihiro/東京大学医科学研究所感染・免疫部門ウイルス感染分野教授

わが国ではインフルエンザウイルスの診療には抗インフルエンザ薬の早期投与が行われており，迅速診断キットは重要な役割を担っている．現在でも鳥インフルエンザウイルスH5N1，H7N9ともに蔓延している国がありヒトへの感染例もあることから，サーベイランスとともに対応策の準備が重要である．迅速診断キットはさまざまな特色をもつものが年々改良，開発されているが，最近の季節性ウイルスのみならずH5N1，H7N9ウイルスも感度良く検出可能か試験し，良好であることを確かめた．それぞれの特色を考慮して，状況に応じて選択することが可能であるが，さらなる迅速性，正確性，簡便性に優れたキットの開発が望まれる．

KEY WORDS
・迅速診断キット
・インフルエンザ
・高病原性鳥インフルエンザH5N1ウイルス
・鳥インフルエンザH7N9ウイルス
・抗インフルエンザ薬

はじめに

わが国ではインフルエンザの診療には迅速診断キットによる判定と抗ウイルス薬の早期投与というフローが確立している．2009年，メキシコで発生したブタ由来インフルエンザウイルスがヒトに蔓延し，新型H1N1インフルエンザパンデミックとなったときにも，日本では迅速診断のうえ，抗インフルエンザ薬による治療が行われたため，重症化や蔓延も防ぐことによって，世界に類を見ない効果を発揮したことは記憶に新しい．

中国では2013年3月に鳥インフルエンザH7N9ウイルスによるヒトへの感染例が多数報告され，公衆衛生への新たな脅威となった．また，高病原性鳥インフルエンザH5N1ウイルスは，東アジアとエジプトの家禽集団で流行しており，時々ヒトに感染する例が後を絶たない．これらのウイルスがパンデミックを引き起こさないようにサーベイランスと対応策の準備が必要である．また，今後，どのような新興・再興インフルエンザが発生するかわからないが，これらに対するワクチンは，すぐに調製し接種することはできないので，このようなウイルス感染を制御するためには，抗ウイルス薬による治療が行われる．この時，インフルエンザ様の症状を呈する患者の初期診断に迅速診断キットは重要な役割を果たすことになる．また，抗ウイルス薬は，可能な限り発症早期に投与する必要があるため，インフルエンザウイルスの感染であることを，効果的に迅速かつ簡単に診断できればH7N9ウイルスやH5N1ウイルスの感染によって引き起こされる個人や社会的損害を最小限に抑えることができる．

迅速診断キットは季節性インフルエンザウイルスの検出のために最適化されているので，H5N1ウイルスやH7N9ウイルスに対する感度は個別にテストする必要がある．以前，われわれはH1N1pdmウイルスとH5N1ウイルスを含むさまざまなウイルス株について，当時日本で購入可能な迅速診断キットの検出感度を比較した[1]が，その後も多くの迅速診断キットが更新，改善され，新しいものも開発されている．今回は，H7N9ウイルスとH5N1

SAMPLE

Copyright(c) Medical Review Co.,Ltd.